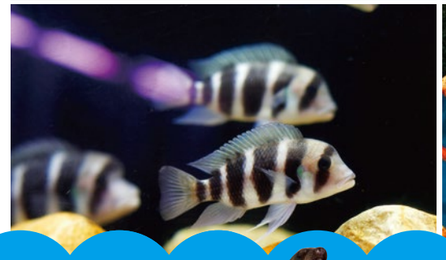


いま、全国から注目される水族館

竹島水族館

楽しい企画やお子さま目線の展示など、アットホームな雰囲気が大人気!
生き物たちはもちろん、働く人も魅力的な竹島水族館にクローズアップ

ココにしかいない珍しい生き物の展示やちょっぴり自虐的なブログにもファンが多く、いまや全国から取材が訪れるほど認知度は急上昇中！

しかし、かつては年間来館者数が13万人を割っていたこともあったという。その頃を知っている人には寂しいイメージがある人もいるでしょう。そんな状態からここまでイメージを変えたのはどのような経緯だったのでしょうか。竹島水族館を変えたのは、今回お話を伺った小林さん。小林さんが主任となった5年前から徐々に変えていったそうです。

小林さんのお気に入りは「まったりうむ」だそう。「ぼーっと眺めているのがおすすめ」

〝魚からお客さんへ〟意識を変えて来館者アップ

「今のような〝お客さんがメイン〟の水族館にしたいという考えは、ここに入社した時から持っていました。しかしお金がない水族館なので、すぐにできることからコツコツと始めるしかない。まずは飼育スタッフがなるべく館内に出ていき、お客さんと話すこと。お客さんがもっと生き物に興味をもってくれるように、手書きの解説も作りました。」

そんな時に新たに作る事になった「さわりんぷーる」の制作過程は、バラバラだったスタッフの考えも一つにまとまり、水族館を大きく変化させた引き金となったそう。

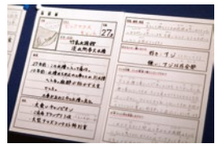
「お客さんメインの考えには、最初はスタッフ全員の同意はありませんでした。これまでの〝生き物がメイン〟の展示を望んでいるスタッフもいましたね。『お客さんが楽しめる水槽にするにはどうすればいいか？』とさわりんぷーるの案をまとめて行くうちに、徐々にスタッフの考えや方向性もまとまっていき、今のたけすい（竹島水族館）になっていったように思います。」

↑手書きの解説は可愛いイラストが並ぶ中、意外にも“へたうま”なものが好評だとか

↑大きなきっかけとなった「さわりんぷーる」。珍しい生き物も触り放題で、訪れた子ども達を釘付けに

一つひとつの問題を解決しながら変化していった竹島水族館。今では年間来館者数は約21万人に。以前との違いはどんなところに感じているのでしょうか。

「まずは常連さんが増えました。以前を知る方からも『来やすくなった』『楽しくなった』と好評です。スタッフも、お客さんが楽しんでいるのが一番いい、一緒に楽しみたいと、自発的に企画を考えて楽しみながら取り組んでいます。」


いま力を入れているという「ギョ歴書」。特徴が生き物目線で書かれている

これからの竹島水族館について

「今もお客さんの声を参考にしながら、常に新しいことを考えています。最近では顔出しパネルを作りました。今後の大きな目標は、全面リニューアルです！　もちろん今のアットホームさはそのままですよ。これからもこれを変えることはありません。子ども達がこんなに自由に歩き回れるのもたけすいの魅力。毎日の散歩コースに、待ち合わせ場所にと気軽に来てくれるのが嬉しいです。まずはお客さんが楽しんでくれることが一番ですからね。」

そう話す小林さんの笑顔からは、竹島水族館への愛情が強く伝わってきます。

昔に一度訪れただけという人も、今もう一度行く価値は大いにあります。お客さんだけでなく、スタッフや生き物たちまでも楽しんでいるようなその雰囲気は、必ずファンになってしまうはず。次はどんなことを実現してくれるのか、これからも竹島水族館から目が離せません。

TAKESUI 5

個性的で、気さくな飼育スタッフさん。気軽に話しかけて仲良くなろう！
生き物たちの詳しい生態や、ウラ話が聞けるかも？

1. チャームポイント　2. 特技／趣味　3. 蒲郡市の方にひと言

竹島水族館 宣伝部長　タケアシくん

1.頭の上のカメラ
2.写真を撮ること、撮られること
3.「いろんな生き物がみんなを待ってるよ! お気に入りの生き物を見つけてね」

グルメハンター　さんちゃん

1.メガネとくるくるパーマ
2.変な深海生物を試食
3.「深海生物とスタッフが熱い! 深海生物の展示は全国的にも種類が多く、スタッフはフレンドリー」

飼育展示主任　コバッチ主任

1.魚もときめくとろける笑顔
2.マダムと仲良くなる
3.「魚を見に来なくていいんです! お話したり、物思いにふけったり、気軽に来て下さいね」

未確認生物調査担当　トダテさん

1.メガネ・黒髪・ストレートヘアー
2.写真撮影
3.「リピーターが多いので、いつも工夫しています。どこが変わったか探してください」

新星ルーキー・淡水全般担当　おーはらくん

1.茶髪、背が高い
2.水泳
3.「アットホームさと個性が売りの水族館ですので、期待して来て下さい! 飼育員の魚への愛情が溢れています」

副主任・設備総監督　クワヤマサン

1.ヒゲ
2.船酔い
3.「小さいお子さんがいるご家族におすすめ。疲れない広さが魅力です。お子さんの水族館デビューにぜひどうぞ!」

たけすいの1日

忙しい飼育スタッフの皆さん。毎日どんなふうにすごしているのか、とある1日の一部を紹介！

観察・開館準備
生き物に病気やケガ、異常がないか掃除をしながらチェック

開館
生き物の移動や搬入
ぶらりん取材日。タカアシガニに遭遇！

館内の見回り
気になる生き物のことなどを、スタッフに質問するチャンス！

ミーティング・工作
HPの更新
ここで新しい企画が誕生したり、楽しい展示を作っているよ

観察・閉館準備

水槽の掃除など
アシカのトレーニングも毎日欠かさない！

退社
…と思いきや
深夜
地元漁師さんからの突然の電話で起こされ、貴重な魚を真夜中に受け取りにいくことも！
スタッフは寝不足ぎみ…

蒲郡っ子におすすめ　たけすいの楽しみ方

●午前中の来館
午前中の来館が狙いめ! 生き物たちにエサを与えるため、午後とは違う活発な動きが見れるよ

●たけすいを散歩コースに
頻繁に展示が変わる竹島水族館。次々に新しい生き物がデビューするので毎回新たな発見がある!

●アシカに接近!
すいている平日の閉館間際にはアシカが館内をお散歩することも。目の前で見れる貴重な体験！

●年間パスポートがお得!
年に3回以上来館で断然お得。スタンプを10個貯めればプレゼントをGET! 誕生日の月にはアシカと記念撮影も

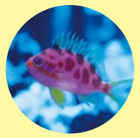
現在の発行数は1,200部！みんなが持ってるよ

DATA
住所／蒲郡市竹島町1-6
TEL／0533-68-2059
入園料／大人500円、小・中学生200円
〈HP〉http://www.city.gamagori.lg.jp/site/takesui/
▶7月のイベントはP12をチェックしよう!!

Facebookもほぼ毎日更新！

飼育スタッフ胸キュン♥　いちおし生き物アワード

可愛いで賞


マダラハナダイ
少し深い場所に住む、コロっとした珍しい魚

チンアナゴ
可愛い生き物No.1! でも全身は長くてブキミ

バトラクスキャット
顔は面白いけれど、アマゾンの口裂けナマズ!

気持ち悪いで賞

ドラゴンフィッシュ
アマゾンに住むエイリアン顔のヒョロヒョロ魚

ウツボ
うちのウツボは数が違う! うじゃうじゃでスゴイ…

オオグソクムシ
ゴキ〇リの親分のような深海の変な生き物!